

腹膜透析の管理のため当院に入院・通院されていた患者さんの

診療情報を用いた臨床研究

研究責任者	腎臓内科 部長	石橋 由孝
実施責任者	腎臓内科 医師	寸村 玲奈

このたび当院では、腹膜透析の管理のため入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くして管理します。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、石橋 由孝までご連絡をお願いします。その場合においても、患者さんへの不利益はございません。

1 対象となる方

西暦 2014 年 4 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日までの間に、腎臓内科で腹膜透析を開始された方。

2 研究課題名：

食塩摂取量を指標とした保存期腎不全教育が腹膜透析継続期間に及ぼす効果について

3 研究実施機関：日本赤十字社医療センター 腎臓内科

4 本研究の意義、目的、方法

我が国における慢性腎臓病患者数は 1330 万人と推定され、末期腎不全に至り慢性透析療法を受けている患者さんは 2021 年の時点で約 35 万人と増加傾向にあります。腹膜透析は透析療法の一つであり、患者さん自身で治療を行うため通院頻度が少なく生活の質を保ちながら継続できる透析療法です。しかしながら腹膜透析が継続困難となる大きな原因としては、体液管理不良や腹膜炎の発症が挙げられ、良好な体液管理継続のためには、減塩を中心とした食事療法が必要になります。しかしながら、減塩を中心とした食事療法が腹膜透析継続期間に与える影響は不明です。そこで、当院では、保存期腎不全教育としての「減塩」が腹膜透析継続率に寄与するかを保存期の推定食塩摂取量を指標とし、検討致します。

5 協力をお願いする内容：診療録および各種検査結果の閲覧。

6 本研究の実施期間：（承認日：～2025 年 3 月 31 日）まで

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。

- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報すべてを削除し、第3者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
 - 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
 - 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。
- 8 お問い合わせ：本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。
- 研究責任者 腎臓内科 部長 石橋 由孝
連絡先：03-3400-1311、内線 66027、E-mail: ishibashi_yoshitaka@med.jrc.or.jp
時間帯：平日 8時30分～17時

以上